

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	旅客実習Ⅰ						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	グランドスタッフに必要な業務知識の基礎と基本的な接客スキルやホスピタリティを身に付けることを目標とします。実践に結びつくロールプレイを通して、業務への理解をさらに深め、将来グランドスタッフとして活躍できることを目指します。また、12時間は（株）ドリームスカイ名古屋との連携授業です。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	空港支援業務とは。グランドスタッフ業務の概要、必要なスキル・資質・アピアランス					
	3～4	カウンター業務基礎知識（各種コード・搭乗手続き）				①空港の業務を知ることができる	
	5～8	6月19日：第1回 （株）ドリームスカイ名古屋連携授業				②航空業界の各コードを理解することができる	
	9～10	国内線搭乗手続きロールプレイングテスト、搭乗手続き案内アナウンス				③日本語・英語で搭乗手続きができる	
	11～12	手荷物、バゲージクレームタグ・リミテッドリリース				④危険物を理解して手荷物預かりの案内ができる	
	13～14	搭乗口業務基礎知識（出発・NOSH）、制限旅客				⑤伝わるアナウンスができる（日・英語）	
	15～16	前期評価試験				⑥可搬の使って発信ができる	
	17～20	9月18日：第2回 （株）ドリームスカイ名古屋連携授業				⑦あらゆる種類の手荷物タグの役割を理解できる	
	21～22	国際線基礎知識（渡航書類）、LL業務、危険物				⑧搭乗口での一連の業務を理解できる	
	23～24	国際線チェックインロールプレイングテスト（英語）、他コース連携授業				⑨国際線、渡航書類についての知識を得る	
	25～28	10月23日：第3回 （株）ドリームスカイ名古屋連携授業				⑩おもてなしの心を理解できる	
	29～30	後期評価試験					
成績評価方法	【前期】 期末筆記試験（60%）、ロールプレイ（20%）、平常点（20%）（授業態度、出欠席） 【後期】 期末筆記試験（50%）、ロールプレイ（20%）、連携企業評価（10%）、平常点（20%）（提出物、出欠席）						
使用テキスト／教材	旅客実習テキスト（オリジナル）、教員作成プリント						
関連科目	旅客実習Ⅱ						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	TIM I						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	国際線の搭乗手続き時に必須である、各国の旅券・査証・入国の際の規則についての英文をTIM(Travel Information Manual)を用いて読み取る基礎力を身に付けます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔	○	・対面/遠隔	○	・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外渡航における旅券、査証、TIMの重要性			①TIMの重要性を理解できる。 ②授業で取り上げた各国の空港コードを理解できる。 ③入国時における旅券の必要残存期限を計算することができる。 ④授業で取り上げた各国の査証の有無を理解できる。 ⑤入国時における無査証での滞在可能日数を計算することができる。 ⑥英文でのTIMATICの文面に慣れ、重要な箇所を見つけることができる。 ⑦あらゆる旅程からTIMATICを見て搭乗手続きの可否を判断できる。		
	3～4	電子渡航認証について					
	5～6	日本国籍：シンガポール行きTIM内容					
	7～8	日本国籍：台湾行きTIM内容					
	9～10	日本国籍：韓国行きTIM内容					
	11～12	日本国籍：中国行きTIM内容					
	13～14	日本国籍：オーストラリア行きTIM内容					
	15～16	日本国籍：アメリカ行きTIM内容					
	17～18	日本国籍：フィリピン行きTIM内容					
	19～20	小テスト					
	21～24	無査証滞在可能期間及び旅券残存期間の計算					
	25～28	演習、総復習					
	29～30	後期期末本試験					
成績評価方法	後期期末本試験（60％）、小テスト（30％）、出席率及び授業態度（10％）						
使用テキスト ／教材	旅客実習テキスト、講師作成資料						
関連科目	TIM II						
その他	電子辞書、電卓を持参すること。 小テストは1回のみの実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	航空基礎知識						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	前期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界の仕事を理解し、そこで働く者にとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	DVD資料鑑賞を用いてのグループワーク、主要空港コード					
	3～4	主要航空会社コード、アライアンス			①国内外主要航空会社コードを理解できる。		
	5～10	航空業界における専門用語					
	11～12	アルファベットコード			②国内外主要空港コードを理解できる。		
	13～14	小テスト					
	15～20	基本的な危険物及び手荷物ルール			③アルファベットコードを理解し、様々な単語をコードに変換し表現できる。		
	21～26	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	27～28	総復習			④基本的な専門用語、危険物知識、手荷物ルールを理解できる。		
	29～30	期末本試験					
					⑤出入国知識、CIQ各分野の役割を理解できる。		
				⑥アライアンスの仕組みを理解し、グループ分けができる。			
成績評価方法	期末本試験（60％）、小テスト（30％）、出席率及び授業態度（10％）						
使用テキスト ／教材	航空基礎知識テキスト（オリジナル）、講師作成資料、夢のお仕事シリーズDVD						
関連科目	航空予約システム演習Ⅱ、旅客実習Ⅱ						
その他	小テストは1回の実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

授業科目名	S P I 対策						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	不得意とする非言語分野の学力向上をし、採用試験（S P I）で成果を出す						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1 ～ 2	基礎学力の確認と基本計算力			① 基本的計算力が定着する		
	3 ～ 4	数学的各種基本単位の修得			② 代数を扱える		
	5 ～ 6	基礎数学の考え方（百分率）			③ 百分率の計算ができる		
	7 ～ 8	基礎数学の考え方（距離、時間、速さ、容積）			④ 推論に対して情報を図示できる		
	9 ～ 10	割合と損益計算			⑤ 確率の考え方を習得して問題を解ける		
	11 ～ 12	推論と命題			⑥ 順列と組み合わせの相違を理解する		
	13 ～ 14	確率、組合せ、順列			⑦ 順列・組み合わせの問題が回答できる		
	15 ～ 16	集合の理論			⑧ 逆数を理解し仕事算問題を解ける		
	17 ～ 18	仕事算の考え方			⑨ 表とグラフの解釈ができる		
	19 ～ 20	表とグラフ			⑩ グラフの領域問題が解ける		
	21 ～ 22	資料解釈におけるデータの見方			⑪ 時間内での問題回答数をあげられる		
	23 ～ 26	S P I 実践対策（練習問題による演習含む）			⑫ 設問に対する解法の手段を選定できる		
	27 ～ 30	傾向理解と総合演習					
成績評価方法	【前期】・期末筆記試験（50%）、出席率（50%） 【後期】・期末筆記試験（40%）、後期課題（30%）、出席率（30%）						
使用テキスト ／教材	教材：キャリアデザインノート（オリジナルテキスト） 副教材（演習問題用）：これが本当のS P I 3だ（講談社）						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他							

授業科目名	TOEICボキャブラリー						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	グランドスタッフ採用試験の英語の資格基準、TOEIC550点の取得を目指し、ボキャブラリーの強化からスコアアップすることを目標とします。また、TOEIC形式の問題も組み込み、反復演習によってボキャブラリーのビルドアップを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="checkbox"/>		ロールプレイ <input type="checkbox"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	TOEIC戦略方法、授業の進め方、Unit1					
	3～4	Unit2&Unit3			①頻出単語のビルドアップができる		
	5～6	Unit4&Unit5			②単語の意味の即答ができる		
	7～8	Unit6&Unit7			③品詞の見極めができる		
	9～10	Unit8&Unit9			④Part5を強化できる		
	11～12	前期試験			⑤リーディング問題から単語を理解できる		
	13～14	Unit10&Unit11			⑥リーディング問題の解答時間を短縮できる		
	15～16	Unit12&Unit13					
	17～18	Unit14&Unit15					
	19～20	Unit16&Unit17					
	21～22	Unit18&Unit19					
	23～26	まとめ					
	27～28	模擬試験					
	29～30	後期試験					
成績評価方法	期末試験（50％）、小テスト（40％）、出席・授業態度（10％）						
使用テキスト／教材	TOEIC L&R テスト ボキャブラリーブースター（アルク）、教員作成プリント						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他	辞書を持参すること。Unitごとに毎回確認テストを実施するので、復習をしっかりと行い備えること。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	面接対応						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	航空業界の面接試験の対応力を対面・オンラインの両面から習得することを目標とします。姿勢や発声、第一印象等に繋がるアビランスも強化し、自分の出した回答からの質問にも答えられる瞬時の判断力と会話の引き出しを増やすことを目指します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	面接の基本マナー①（身だしなみ・姿勢・発声・表情）			①自己について知る ②面接基本動作ができる ③WEB面接の心得を知る ④印象の良い聴講姿勢を保つことができる ⑤回答の引き出しをビルドアップできる ⑥協調性をもって取り組むことができる ⑦将来のビジョンを答えることができる ⑧自分の回答に責任を持って答えることができる		
	3～4	面接の基本マナー②（入室・退室、名乗り、お辞儀）					
	5～6	自己分析①、自己紹介					
	7～8	WEB面接対応術					
	9～10	自己分析②					
	11～12	自己PR					
	13～14	面接の基本的な質問					
	15～16	前期評価（模擬面接）					
	17～18	グループディスカッション					
	19～20	企業研究					
	21～22	志望動機					
	23～28	企業別過去質問による面接					
	29～30	後期評価（模擬面接）					
成績評価方法	期末試験（模擬面接）（60%）、授業内発表（30%）、授業態度・出欠席（10%）						
使用テキスト ／教材	面接テキスト(オリジナル)、教員作成プリント						
関連科目	プレゼンテーション、GSキャリアデザイン						
その他	身だしなみを整え、制服着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	航空予約システム演習 I						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習		1	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	国際線の航空予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約を作成するスキルを習得することを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Amadeus Selling Platformの起動と終了コマンド					
	3～4	ヘボン式つづり			①アマデウスシステムの使い方を知る		
	5～8	情報の検索・照会			②ヘボン式ローマ字を覚え入力できる		
	9～12	空港コード、航空会社コード			③情報の検索の種類を覚え、 クイックガイドから探せる		
	13～14	タイムテーブル、フライトスケジュール			④タイムテーブルを検索し読み取ることができる		
	15～16	空席照会			⑤フライトスケジュールを検索し読み取ることができる		
	17～18	フライトの予約、ダイレクトアクセス			⑥空席照会をし読み取ることができる		
	19～22	フライトの予約（乗継便）			⑦空席照会から基本的な予約ができる		
	23～28	PNR (Passenger Name Record) の作成			⑧ダイレクアクセスが理解できる		
	29～30	後期評価			⑨PNRを読み取ることができる		
					⑩基本的なPNRを作成できる		
	成績評価方法	期末試験（70％）、小テスト（20％）、出席・授業態度（10％）					
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行）、教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習 II						
その他	空港コード、航空会社コード等、オペレーションに必要なコードは必ず覚えていくこと。 分野ごとに確認テストを実施するので、きちんと復習をすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	グラウンドハンドリング概論						
学科・コース	国際エアライン科／グラウンドスタッフコース						
担当教員	望月 照夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	空港におけるグラウンドハンドリング作業について、作業の種類と順序、制約時間、使用機材について理解する。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グラウンドハンドリングとは・空港の施設と名称			① グラウンドハンドリングの概要の理解 ② 空港の施設とその機能が説明できる ③ 機側作業のフローチャートを描ける ④ 作業に使われるGSEと機能を説明できる ⑤ ULDの区別と搭載可能な機体を理解する ⑥ ロードシートが読めること ⑦ 航空貨物の特徴と種類が説明できる ⑧ 特別な貨物の種類と取扱いを理解する ⑨ 取扱ラベル・危険物ラベルの知識がある ⑩ 貨物の種類と必要な文書を理解している		
	3～4	ステイタイムと機側作業					
	5～6	GSEの機能と機側作業					
	7～10	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	11～14	機体とULD					
	15～16	前期期末試験					
	17～20	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	21～22	航空貨物					
	23～26	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	27～28	航空貨物の種類					
	29～30	後期期末試験					
成績評価方法	期末試験（60%）、出席率・授業態度（40%）						
使用テキスト ／教材	航空機のグラウンドハンドリング（日本航空技術協会）・自作プリント						
関連科目	旅客実習Ⅱ						
その他	グラウンドハンドリングに興味を持ち、その仕事に就職できるよう期待します。						



## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	手話 I						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	大川 香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	全国手話検定 5 級試験合格を目指す						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	あいさつ			① 基本的な単語を覚える ② 表情を豊かに表す ③ 手話は言語であることを知る ④ 聴覚障害について理解する ⑤ 全国手話検定 5 級合格を目指す ⑥ 検定試験練習で出題傾向に慣れる ⑦ 手話単語の復習を必ずすること ⑧ 伝える努力をする		
	3～4	数字					
	5～6	家族					
	7～8	復習					
	9～10	趣味					
	11～12	職業					
	13～14	聴覚障害について（ゲストろう講師）					
	15～16	前期試験					
	17～18	学生生活					
	19～20	一日/5 級単語①					
	21～22	一週間/小テスト/5 級単語②					
	23～24	一年/小テスト/5 級単語③					
	25～26	復習/小テスト/5 級単語④					
	27～30	手話検定 5 級試験練習（ろう講師授業含む）					
成績評価方法	[前期] 前期試験（70%） 出席（30%） [後期] 検定試験合格（70%） 出席（30%）						
使用テキスト ／教材	静岡発～手話は言語～手話学習テキスト（静岡県聴覚障害者協会発行）						
関連科目	手話Ⅱ、サービス介助						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

授業科目名	旅客実習Ⅱ						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ基礎を踏まえ、更に専門的なイレギュラー対応、クレーム対応などを学びます。様々なシチュエーションに臨機応変に対応できるマインドとホスピタリティの育成を目標とします。コース外連携授業や学外の方との連携授業を通し、実践力・対応力を身に着けます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	敬語と接遇用語、内線外線対応			①未着、破損手荷物の初期対応ができる。 (英語/日本語) ②仲間同士で協力し顧客満足度を高めるためのマインドを習得する。(日本語) ③超過手荷物、座席変更希望、フライトディレイフライトキャンセル等各種イレギュラー下における初期対応ができる。(英語/日本語) ④お客様への説明力、表現力を高め、積極性があり親しみやすい接客対応を習得する。(日本語) ⑤美しい身だしなみ、所作で、正しい敬語や接遇用語を習得する。(日本語) ⑥授業内、授業外でのオンとオフの切り替えができる。		
	7～12	バゲージクレームコーナーでの各種対応					
	13～14	前期期末本試験					
	15～26	AA/AS コース外連携授業 準備					
	27～28	AA/AS コース外連携授業					
	29～46	AA/AS 学外連携合同実習 準備 (ま・あ・る)					
	47～50	AA/AS 学外連携合同実習 (ま・あ・る館外講座)					
	51～58	各種イレギュラーにおけるの旅客対応					
	59～60	1年の振り返り、レポート作成					
成績評価方法	<b>【前】</b> 期末試験 (60%)、ロールプレイ (30%)、出席率・授業態度 (10%) <b>【後】</b> ロールプレイ (60%)、レポート提出 (30%)、出席率・授業態度 (10%)						
使用テキスト ／教材	旅客実習テキスト (オリジナル)、講師作成資料						
関連科目	旅客実習Ⅰ、航空基礎知識、グランドハンドリング概論						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	TIM II						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ「TIMATIC」の読み取りを瞬時にできる速読力を身に付けることを目標とします。さらに、搭乗カウンター業務のロールプレイで、実際に「TIMATIC」を用いて規則を読み取り、お客様へのスムーズな搭乗手続き案内のスキルを身に付けることを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク	ロールプレイ ○			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	1年の復習：国籍・行き先は教員が適宜選択					
	5～9	乗り継ぎのあるTIMATICの読み取り			①乗り継ぎ先の入国のルールがわかる		
	10～14	TIMATICを用いてのチェックインロールプレイ演習			②お客様案内に必要な箇所のみ読み取りができる		
	15～16	チェックインロールプレイ試験			③滞在可能期間と査証の有効期限の読み取りが即座にできる		
	17～18	前期筆記試験			④チェックインに必要な説明ができる		
	19～21	国籍・乗り継ぎ地・行き先は教員が適宜選択			⑤入国できない場合の説明ができる		
	22～25	パスポートチェックとTIMATICの読み取り、お客様案内			⑥TIMATICを読みながら、お客様案内が同時にできる（日本語/英語）		
	26～28	後期筆記試験					
	29～30	チェックインロールプレイ試験（乗り継ぎ）					
成績評価方法	期末筆記試験（40%）、ロールプレイ（40%）、平常点（20%）（出席率、授業態度）						
使用テキスト ／教材	TIMATIC例文、教員作成プリント						
関連科目	TIM I						
その他	・英和辞書を必ず持参すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	プレゼンテーション						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	小尾 純子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・実技	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	報連相の基本である聞く力と伝わる話し方を身につけます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業 <input type="checkbox"/>	調査授業 <input type="checkbox"/>	フィールドワーク <input type="checkbox"/>			
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>	ペアワーク <input type="radio"/>	グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>			
	プレゼンテーション <input type="radio"/>	PBL <input type="checkbox"/>	模擬授業 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	話すこと聞くことの重要性			① 聞き流さない聞き方ができる。 ② 反応力を身につける。 ③ 論理的に考えられる。 ④ 筋道を立てて話せる。 ⑤ 伝わる話し方を身につける。 ⑥ ディベートの意義を理解する。 ⑦ ディベートの流れを理解し試合ができる。		
	3～4	ディベート概要					
	5～6	ディベート準備					
	7～8	練習ディベート					
	9～10	立論 △ロジック					
	11～12	反駁					
	13～14	尋問					
	15～16	ロジックの検討					
	17～18	第二反駁					
	19～20	分かりやすい話し方					
	21～22	審判					
	23～28	ディベート					
	29～30	振り返り					
成績評価方法	出欠席（60％）、取り組み姿勢（40％）※宿題など提出物含む						
使用テキスト ／教材	大学生のためのディベート入門 ナカニシヤ出版						
関連科目	面接対応						
その他	パソコンを持参を持参すること						

授業科目名	航空予約システム演習Ⅱ						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ基本的な予約作成から、運賃計算やSpecial Service Request、Other Service Information等の応用スキルを習得し、実践的に使える操作力を身に付けることを目標とします。9月にはアマデウス検定、Amadeus Reservation Fundamentals 合格を目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	1年次の復習			①正確なPNRを作成することができる ②迅速にPNRを作成することができる ③Special Service Requestを理解することができる ④SSRを正確に入力することができる ⑤PNRの各項目の修正ができる ⑥キャンセルの手順を理解して実行できる ⑦検定試験問題を時間内に解くことができる ⑧ロールプレイ形式でお客様の対応をしながら予約を作成することができる		
	3～4	(SSR) Special Service Request (フリークエントフライヤープログラム)					
	5～6	(SSR) Special Service Request (スペシャルミール)					
	7～8	(SSR) Special Service Request (シートリクエスト)					
	9～10	(OSI) Other Service Information					
	11～14	PNR項目のキャンセル・修正					
	15～16	前期評価					
	17～24	検定対策、模擬試験					
	25～28	予約作成応用（お客様対応）					
	29～30	後期評価					
成績評価方法	【前期】 期末試験（80%）、平常点（20%）（出席率、授業態度） 【後期】 検定結果（80%）、ロールプレイ形式試験（20%）						
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行）、教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習Ⅰ、航空基礎知識						
その他	クイックガイドの見方をマスターすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	手話Ⅱ						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	田宮 裕乃						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	全国手話検定4級合格を目指し、より実践的な手話を習得します。その中で聴覚障害者への配慮についてや、聴覚障害者向けのサービスやについても学びます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	手話Ⅰ 復習			① 手話検定4級に合格する ② 手話語彙を増やす ③ 手話で接客ができる ④ 聴覚障害者への対応を知る ⑤ 合理的配慮について理解する ⑥ ろう講師との会話にチャレンジする ⑦ 福祉関係の法律や制度を学ぶ ⑧ ろう文化を学びろう者を理解する		
	3～4	疑問文・時間に関する表現					
	5～6	家族・友達のこと					
	7～8	一日のこと					
	9～10	一週間のこと					
	11～12	一年間のこと					
	13～14	あなたの住む町や故郷のこと					
	15～16	手話検定4級テキストまとめ①					
	17～18	合理的配慮（ゲスト講師）					
	19～20	前期試験					
	21～24	手話検定試験対策（ゲストろう講師）					
		手話検定試験					
	25～28	接客手話					
29～30	後期試験						
成績評価方法	前期：テスト（70%）※小テスト含む、出席（30%） 後期：手話検定試験・後期試験（70%）、出席（30%）						
使用テキスト ／教材	DVDで学ぶ手話の本 手話接客用会話テキスト（オリジナル）						
関連科目	手話Ⅰ						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	サービス介助						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	小澤 恵巳子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	高齢者や配慮の必要なお客様に広い空港内や機内を快適にご利用いただけるよう、サービス介助士の資格を有する教員から気配りやサービス介助の方法を学びます。即戦力となる介助方法の習得を目標とします。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	合理的配慮についての理解					
	3～4	航空会社の合理的配慮についての理解				① 合理的配慮の理解ができる	
	5～6	航空会社・サービスの現場での合理的配慮と留意点				② 航空会社の対応を理解し実践できる	
	7～8	ユニバーサルなサービスに関する用語の理解				③ サービス介助の心と技術が身に付く	
	9～10	車いす使用者への介助方法（操作の注意点）				④ 車いすの操作と留意点がわかる	
	11～12	車いす介助の実践、前期期末試験				⑤ 車いすの介助ができる	
	13～14	グライフ・サービス介助実習準備①				⑥ 視覚障がい者の状況が理解できる	
	15～16	グライフ・サービス介助実習準備②				⑦ 視覚障がい者の介助が出来るようになる	
	17～18	グライフ・サービス介助実習				⑧ 高齢者の状況が理解できる	
	19～20	航空会社の車いす対応について				⑨ 高齢者の介助ができる	
	21～22	視覚障がい者の状況と介助				⑩ 聴覚障がい者等の現状が理解できる	
	23～24	聴覚障がい者の状況と介助					
	25～26	介助犬について知る					
27～28	クロックポジションの活用と高齢者接客対応						
29～30	サービス介助まとめ、後期期末試験						
成績評価方法	期末試験（50％）※実技を含む、出欠席（30％）、取り組み姿勢（20％）						
使用テキスト ／教材	サービス介助テキスト（オリジナル）						
関連科目	手話Ⅰ						
その他	※実務経験がある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2024 年度

授業科目名	GSキャリアデザイン						
学科・コース	国際エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	航空会社への就職を目指し、必要とされる要素をあらゆる面から学びます。また、航空業界への早期就業を見越し、知識の定着と自分の意見を発する力を強化し、社会人としてのマナーやマインドを強化し、社会人耐久力を身に付けることを目標とします。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔		・オンデマンド		
アクティブラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク ○		グループワーク ○		ロールプレイ
	プレゼンテーション ○		PBL		模擬授業		その他
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	社会人としてのビジョン					
	5～10	航空業界用語①			①将来のビジョンを明確化できる		
	11～16	航空業界用語②			②社会人としての意識を形成する		
	17～20	自己表現			③社会人としてのマナーを身に付ける		
	21～24	メンタル			④マインドの切り替えの仕方を体得できる		
	25～34	進路別ワーク①			⑤就職先の企業で必要な知識を体得できる		
	35～46	就職活動スライド作成			⑥航空業界の基礎知識をあらゆる面から理解できる		
	47～48	就職活動についてのプレゼンテーション			⑦航空業界で働くマインドをセットできる		
	49～60	進路別ワーク②			⑧自分の意見を臆することなく発することができる		
成績評価方法	【前期】平常点（60%）、課題（20%）、出欠席（20%） 【後期】プレゼンテーション（60%）、平常点（20%）、出欠席（20%）						
使用テキスト／教材	旅客実習テキスト、面接テキスト、教員作成プリント						
関連科目	面接対応、SPI対策、TOEICボキャブラリー						
その他	進路別ワークでは、それぞれの就職先、もしくは目指す企業についての研究をします。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						



授業科目名	接遇中国語						
学科・コース	国際エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	邱 馨慧						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	前期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	空港カウンターやゲート等のあらゆる場面で応用できるおもてなし中国語の習得を目標とします。 ロールプレイを通して実践的にシチュエーションごとに学ぶことで生きた中国語を身に付けます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	グランドスタッフの接客の基本用語			① 正確に発音できる ② グランドスタッフの業務単語が習得できる ③ 中国語で搭乗手続きができる ④ 荷物についての中国語が理解できる ⑤ 搭乗口で中国語対応ができる ⑥ 待合室で使われる中国語が理解できる ⑦ インフォメーションカウンターで案内できる ⑧ 中国語でトラブルの対応ができる ⑨ 中国語でアナウンスができる		
	7～12	チェックインカウンター(搭乗手続き、手荷物)					
	3～18	中国語でのアナウンス					
	19～24	中国語でのトラブルの対応					
	25～30	プレゼンテーションの練習、会話実演					
成績評価方法	出席状況(20%)、授業態度(20%)、課題・小テスト(20%)、期末ロールプレイ試験(40%)						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント						
関連科目							
その他							